

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	グループホームの専用のEVを施錠している。EVを利用しなければ、5階に施設があるので困難。そのことが拘束になるのかを家人の意見を含めて話し合いの機会を確保する必要がある。	家人にEVの施錠していることの影響、希望を確認する事ができる。	家人面会の際に、EV前で開錠し帰宅するときの様子で、印象や希望を確認することができる。また、EV前で不穩になっている利用者を日中として、何人いるかを確認し、現状を把握する。	12ヶ月
2	1	GHとしての理念はあるが、地域密着サービスとしての理念を意義を踏まえた上で、再度検討する必要がある。	地域密着サービス事業所としての役割を十分理解し、それに沿った理念の共有と実践ができる。	地域の行事等に参加し、地域が何を求め実施しようとしているかを確認する。また、GH連絡会などで事業所として役割を再認識する。	12ヶ月
3	4	2か月に1回の運営推進会議を開催しているが、サービスの質の向上にあたり知見を有する方の参加者不足している。	運営推進会議で、知見を有する方に参加してもらえるように手配する。	運営推進会議等で話し合い、知見を有する方の紹介を依頼する。	6ヶ月
4	7	高齢者の虐待防止関連法について学ぶ機会の確保ができていない。	虐待とは、何か事例を踏まえて勉強会を実施する。	虐待についての勉強会の参加。(施設外・施設内含め)	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。